

事務事業名	尾原ダム周辺測量・登記業務	所属部	総務部	所属課	管財課	
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G	
	施策名	〈08〉財政の健全化		課長名	井上芳樹	
	目的:対象	市の財政	意図	健全に運営する。	電話番号	0854-40-1025 (内線) 2373
	基本事業名	〈026〉効率・効果的な財産の管理運用		担当者名	上代真一	
目的:対象	基金・財産	意図	効率・効果的に財産を管理運用する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 1 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 0 5 3 0 0 1	

1 現状把握〔DO〕

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (27年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
尾原ダム建設事業に伴う土地の整理を行う。公図と現況が違うため現況と一致させるための登記手続き。事業範囲が広域にわたるため法務局と事前協議を行い、エリアを決めスピーディーに登記へ向かうことが必要となる。 ※平成27年度に政策企画部ダム対策課より引継ぎを受けた業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) 前年度法務局との協議に基づき、道路用地との区別及び島根県に貸し出している土地の整理から取り掛かった。表題及び分筆登記の軽減措置(残地測量・境界点の復元)については都度協議が必要なため、エリアを決めスピーディーに登記へ向かうことが必要となる。	元年度計画(元年度に計画する主な活動) 旧市道用地が国土調査により現地確認不能地になっているため再度表示登記により地番を復活させる。その上で現況に合わせ分・合筆をはかる。				
	② 活動指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)
	ア 整理済面積	m ²	0	14,840	2,204	10,000
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)	
	事業完了に伴う土地の整理		ア 未整理土地	m ²	700,000	685,160	682,956	672,956
			イ					
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(計画)		
区画形状に地積を合わせる。	ア 進捗率	%	0.0	2.1	2.4	3.9		
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)	② コストの推移	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
委託料 1,783千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	284	1,903	1,783
	事業費計(A)	千円	284	1,903	1,783	2,090
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	79	500	500
		人件費計(B)	千円	313	2,039	2,166
	トータルコスト(A)+(B)	千円	597	3,942	3,949	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾原ダム整備に伴い事業関連地の財産整理が発生した。	業務範囲が広大であることから、土地家屋調査士への業務委託を検討した。	土地区画の整理を行うにあたり、法務局との調整が必要。

事務事業名	尾原ダム周辺測量・登記業務	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合	
③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 ・平成23年度末に尾原ダムが完成したことにより、これ以上の成果はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 ・尾原ダム完成後の地域づくり活動が本格化する中で国、県、奥出雲町及び周辺住民の理解が得られない。	
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	*ある場合 (具体的な手段や類似事業名)		
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	理由 ・ダム対策を総括する事業であり、統廃合できない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・ダムを中心とした地域づくりが本格化するなかで、事業費の削減は出来ない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 ・雲南市がダム対策事業に取組むことが重要であって、外部委託による事業の実施では地元住民の理解が得られない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 ・尾原ダム建設事業は斐伊川水系治水事業の一つとして県民を災害から守るとともに、ダム周辺地域の地域づくりを検討するうえでも適正である。
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・尾原ダム完成後の地域づくりに向け、地域住民の理解を得ながら、関係機関との調整を行い、事業促進を図った。
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
尾原ダム完成に伴い事業は終了するが、斐伊川治水事業完了まで取り組み継続が妥当																								